

青 山 小 だ よ り

平成30年度 NO.7

発行日 平成30年 11月1日

港区立青山小学校 校長 下城 英和

tel.03-3403-5588 fax.03-3403-5589

mail : aoyama-es@minato-tyky.ed.jp

HP : <http://aoyama-es.minato-tyky.ed.jp/>

「式」

校長 下城英和

木々が色鮮やかに色付く季節を迎えました。保護者・地域の皆様におかれましては御健勝のことと存じます。先月は、3日間、学校公開を行いました。御多用にもかかわらず、多くの皆様に御来校いただき誠にありがとうございました。一人一人の子供たちが、学年に応じて成長している姿を御覧いただけたかと思えます。この後も学校公開はありますので、御来校していただき、子供たちの学校生活の様子を見ていただければ幸いです。

この学校公開の週の前に合同運動会（あすなる学級）、連合運動会（6年生）が行われました。当日は、一人一人が、自己ベストを目指して様々な種目に挑戦しました。どの子供たちも今まで練習してきた成果を発揮すると共に、一人一人の記録も生まれました。多くの先生方に教えていただき、積み重ねてきた練習は嘘をつきませんでした。最後まで力を抜くことなく取り組む子供たちの姿勢は、たいへん素晴らしいものでした。また、競技だけでなく、開閉会式での態度もとても立派でした。式という場面において、その場をきちんと考え、そこに自分を合わせる事がしっかりとできていました。

国語辞典で「式」の意味を調べるといくつか意味がのっていますが、人が集まって行う式の意味は、決まったやり方とか作法という意味が当てはまると思えます。決まったやり方や作法と聞くと、何となく堅苦しいものですが、実は、子供たちが大人になるために身につけておく必要があるものです。それは、次の3つの理由からとされています。

①社会または集団の決まりを保ち続けるため。

②相手または周りの人に迷惑をかけない。または、不快感を与えないようにするため。

③相手または周り人を守り、居心地がよいようにするため。

学校の教育活動において、「式」と名が付く活動はそう多くはありません。一つ一つの活動をとおして子供たちが、社会の場に合わせた意識をもって行動ができるように指導を積み重ねていきたいと考えます。

結びになりますが、今月は大きな行事「学芸会」を行います。子供たちは、自分の表現に磨きをかけて、一所懸命、今、練習に取り組んでいます。各御家庭でも子供たちの頑張りを見守り、励ましていただければ幸いです。そして、「学校の顔」である高学年が、多くの場面で活躍してくれます。特に6年生は小学校生活もあと5か月ですが、最後まで全校の手本となり、後進の育成に向けてさらに頑張ってもらいたいと思えます。1～5年生は、6年生の姿を見て学び、追いつき、さらにそれを上回っていけるようにと願っています。

11月5日（月）は開校記念日です。今年で143周年を迎えました。本校のさらなる発展に向けて、子供たちだけでなく教職員もよりより学習・生活環境を作っていくために、全職員で協働していきたいと思えます。今後とも御支援御協力をあらためてお願い申し上げます。